



うぐせんたかた

市議会だより

令和8年 第2回定例会



● 第12回川崎フロンターレにこにこサッカー教室

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No. 137

発行日

令和8年8月19日



広田小6年生

議会を学ぶ

広田小学校の6年生16人は5月29日、陸前高田市議会を訪れました。これは社会科学習の一環として企画されたもので、及川修一議長をゲストティーチャー（講師役）に、市議会の仕事や役割について学びました。

授業は本会議場で行われ、児童は普段入ることのない議場の雰囲気や議員の氏名標に書かれた自分の名前を前に興味津々の様子を見せていました。議長は、市議会の役割

について、市長が提案した施策や予算が「本当に市民のためになるか」「税金が適切に使われているか」を審査・チェックすることだと説明しました。また、総務、教育民生、産業建設の3つの常任委員会の仕組みについても紹介し、児童たちは熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。さらに、最近の議会の成果として、雨の日でも遊べる「夢アリーナたかた」への遊具設置をはじめ、津波被災資料の復旧・保存を継続するための国への要望活動、そしてこどもたちが健やかに育つための指針となる「陸前高田市こども基本条例」の制定などを紹介しました。

その後は質問の時間となり、実際の議会さながらの活発なやり取りが行われました。

**児童の
及川議長への質疑**

問 なぜ議員になろうと思ったのですか。

答 市内にもっとお店が増え、働く場所も増えてほしいという思いがありました。議員になれば、そのような市民の声を直接市長や市に届け、まちを良くすることができると考えたからです。

問 仕事で一番大変なことは何ですか。

答 1年365日、常に議員としての責任があ



ることです。夜間の相談や地域の会議も多く、公平な判断をするために日ごろから勉強を続けなければならぬことが大変です。

問 海外からの観光客のために外国語の看板を増やしてほしいです。

答 私もそのとおりだと思います。機会があれば、そのようなことも議会で話し合っていきたいと思っています。

問 焼肉や回転寿司のチェーン店を増やしてほしいです。

答 私も同感です。私も時々、隣町まで食べに行っています（笑）。

質疑応答の後には児童から感想が述べられ、「このような場所に來たのは初めてなので、本当にう

陸前高田市議会では、今後も学校からの要請に応じて、市議会の役割や議会活動について理解を深めてもらうための取り組みを進めていきます。

れしかった」「僕も陸前高田のために協力したいことがたくさんあるので、何か協力してみたい」といった前向きな声が聞かれました。

最後に議長は、「選挙権は18歳からですが、皆さんもすでにまちづくりの一員です。今日のうちに自分の考えや意見を伝え続けることが、まちを変える力になります」と呼びかけ、今後ともまちづくりへの関心を深めてほしいと期待を寄せました。



令和8年第2回定例会提出議案

(報告5件、専決処分3件、選任同意1件、財産取得3件、条例4件、補正予算6件、議員発議1件)

- | | | | |
|-----|---|------|--|
| 報告1 | 損害賠償の額を定め和解することに関する専決処分の報告について | 議案9 | 陸前高田市印鑑条例及び陸前高田市手数料条例の一部を改正する条例 |
| 報告2 | 令和7年度陸前高田市一般会計繰越明許費繰越計算書 | 議案10 | 陸前高田市農林水産業振興基金条例の一部を改正する条例 |
| 報告3 | 令和7年度陸前高田市一般会計事故繰越し繰越計算書 | | 貸付金の償還期間を10年以内から20年以内に延長するための改正 |
| 報告4 | 令和7年度陸前高田市水道事業会計予算繰越計算書 | 議案11 | 陸前高田市介護保険条例の一部を改正する条例 |
| 報告5 | 令和7年度陸前高田市下水道事業会計予算繰越計算書 | 議案12 | 令和8年度陸前高田市一般会計補正予算(第1号) |
| 議案1 | 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第9号)の専決処分について | 議案13 | 令和8年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) |
| 議案2 | 陸前高田市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について | 議案14 | 令和8年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算(第1号) |
| 議案3 | 陸前高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について | 議案15 | 令和8年度陸前高田市水道事業会計補正予算(第1号) |
| 議案4 | 固定資産評価員の選任について | 議案16 | 令和8年度陸前高田市下水道事業会計補正予算(第1号) |
| 議案5 | 財産の取得について
消防本部に配備する資機材搬送車 | 議案17 | 令和8年度陸前高田市一般会計補正予算(第2号) |
| 議案6 | 財産の取得について
市立小中学校の児童生徒用のタブレット | 発議2 | 中東情勢に伴う物価高騰への対策強化及び資材・燃料等の安定供給を求める意見書の提出について |
| 議案7 | 財産の取得について
学校給食センターの食器等の昇降消毒保管機 | | |
| 議案8 | 陸前高田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例 | | |

固定資産評価員選任に同意

●固定資産評価員

細谷 勇次氏(58歳) 米崎町



ふるさと融資制度を活用

新ホテルに16億円貸付

第2回定例会は6月18日から7月7日までの20日間でを行いました。

新ホテル建設のためのふるさと融資事業費や花火大会への開催補助金などが盛り込まれた本年度一般会計補正予算(18億2601万円を追加し、197億5101万円)をはじめ、消防資機材搬送車、市内小中学校の学習タブレット取得など専決処分3件、財産の取得3件、条例案4件、補正予算案6件を原案通り承認・可決しました。また、固定資産評価員の選任に同意し、繰越計算書など5件の報告を受けました。

一般質問には8人が登壇し、市長公約や物価高騰対策など市政全般にわたり論戦を展開。予算等特別委員会では、条例改正や花火大会への補助金に対して、質疑が繰り広げられました。

最終日には、予算等特別委員会からの報告、当局より追加提案(一般会計補正予算1億円を追加し、198億5101万円)1件、意見書の提出についての委員会発議1件を可決し、閉会しました。

一般会計の主な補正予算項目

歳出(支出)

項目	補正額	補正の理由
ふるさと融資事業費	16億円	ホテル建設に対する貸付(なお、ふるさと融資制度を活用するため、本市の実質負担は地方債の償還利子分のみ)
観光推進事業費	950万円	高田松原花火開催への補助金(800万円)、「観光×若手」共創プロジェクトへの補助金
防火水槽設置事業費	1111万円	防火水槽新設工事
道路橋梁単独災害復旧事業費	1億円	本年6月下旬の大雨による道路災害の復旧費



新ホテル完成イメージ

ここが聞きたい

予算審査〈質疑〉

予算等特別委員会

第2回定例会に上程された条例案4件と補正予算案5件は、予算等特別委員会（菅野秀一郎委員長）で審査しました。

追加提案を合わせた一般会計が19億2601万円に及ぶ補正のため、注目された内容に多くの質疑がありました。その一部を紹介します。

また、委員会最終日には、農林水産業振興基金条例の一部を改正する条例について議員間討議が行われ、その考え方などについて議論しました。

高田松原花火大会開催補助金

問 補助金の交付は実行委員会からの要望なのか。どういった経緯で予算計上をしたのか。

答 要望ではなく、市としての政策判断。今秋実施する花火大会の割引き対応に係る関連費用として計上した。

問 補助の内訳は。

答 昨年5月に急遽中止となった三陸花火大会チケット未返金者の実態調査、未返金者に対して行う割引き分の減収補てんなど、本来不要の業務に係る経費や花火大会開催に係る警備に要する人件費に充てられる。

問 悪天候などで開催できない場合の対応は把握しているのか。

答 万が一中止となった場合に備え、協力協定書において興業中止保険に加入することを明記している。また、定期的な収支報告も行うこととしている。

問 当局は持続可能な花火大会を目指しているようだが、来年も開催される際は補助していく考えか。

答 補助していく考えはあるが、補助額については今回の実績を踏まえ、その都度検討していく。



高田松原花火のポスター

防火水槽新設工事費

問 防火水槽は、今までになかった区域へ新設するの

答 昨年12月に土砂流入が発覚した防火水槽があり、当初取り除いて再利用のつもりだったが、設置年数も経ち劣化が激しいため廃止し、近くの場所に新たに設置する予定。

問 市内には類似した防火水槽が他にも多くあるのではないのか。また改修の予定は。

答 毎年数回に渡り調査している。埋設型の防火水槽を設置するには土地の確保が大前提であることから、今後、計画的に改修、入れ換えを検討していく。



撤去予定の防火水槽（横田町）

農林水産業振興基金条例改正

問 貸付限度額は3千万円、貸付利息は1・2%のまま、償還期間を10年以内から20年以内に延ばす改正だが、対象とする事業は。

答 施行規則にある「かつ、国、県及び農林水産業関係団体等の機関の制度資金を活用できない事業で」の部分を除く、農林水産業の幅広い分野の申し出を受け、担当課で検討する。

問 運転資金、設備資金の区分や制度資金からの借り換えの可否など制度設計の方向性は。

答 運転資金、設備資金はどちらも対象。事業主体からすれば借り換えかもしれないが、市は申請内容を審査する。現在、国・県の制度資金の金利が上昇しており、返済が非常に重荷になっている。制度資金と本基金の返済額を比べた場合、本基金の活用が当該団体の経営にとって非常に有利ではないかという観点から今回の提案に至った。

一次産業振興の一助に期待

我が市政を問う！

一般質問

伊勢 純 (日本共産党)
中東情勢の影響による急激な物価高騰と資材不足への対策
カキ種苗の導入・育種
草刈りへの本市支援制度

大坂 俊
本市の財政状況と今後の財政運営
本市教育委員会の史実と伝承の考え方

福田 利喜 (創生会)
土地区画整理事業で整備した区域の利活用
ふるさと納税

大和田加代子
陸前高田市市民の森
ボランティア

大坪 涼子 (日本共産党)
復旧整備された市内の体育交流施設の利活用
状況及びスポーツのまちづくり
一人ひとりを大切にした学校教育

佐々木良麻 (こづほく未来創生)
大学誘致
広域連携
高田松原花火の開催

藤倉 泰治 (日本共産党)
市政課題と市長の政治姿勢
東日本大震災15年と今後の防災対策
ツキノワグマから市民の命と安全を守ること

木村 聡 (こづほく未来創生)
財政の考え方
市が掲げるビジョン
商工業の振興戦略



おおさか たかし
大坂 俊

財政運営の方針は

歳出見直し重要と認識



こちらから視聴できます

問 本市の財政運営における歳入不足対策と運営方針はどうか。

答 歳入不足への対応を財政調整基金の繰り入れのみに頼るのではなく、歳出の見直しを含めた対応が重要な視点であると認識している。そのため、歳入確保に努めるとともに、歳出面においても事務事業の検証、公共施設の維持管理の適正化、デジタル化による効率化を進めたい。

問 委託料や光熱費などの物件費が増加傾向にあることとの認識はどうか。

答 増加傾向にあることは、財政運営上の課題と認識している。物件費は、行政サービスを維持する上で必要な経費であるが、震災後に復旧した公共施設の維持管理費やシステム運用経費なども増加要因と考え



貴重な文化資源が記されている
陸前高田市史

られる。しかし、増加をただ容認せず必要性等の観点から検証を行い、見直したい。

問 史実と伝承の区別は歴史を探究する上で、史実と伝承の役割をどう考えているか。

答 「陸前高田市史」では、別の章立てとして明確に区別しているが、伝承と史実は、共に地域の歴史や精神文化の一端を示す貴重な文化資源と認識している。



いせ じゅん
伊勢 純
(日本共産党)

物価高騰へ制度周知は積極的に取り組み申請支援も



こちらから視聴できます

問 急激な物価高騰への対策のひとつは、本市の各種支援制度などを市民や事業者へ改めて周知を図ることではないか。

答 国や県の支援制度も含め、引き続き積極的に周知に取り組みと共に、対象となる事業者がスムーズに申請を行えるよう商工会などと連携し、必要な支援策の実施に努める。



物価高騰への対応策が課題に

カキ三倍体へ支援は

問 高水温に強いとされるカキ三倍体種への導入へ支援は、三倍体種への導入へ支援は、

答 広田湾漁協やカキ養殖漁業者と協議を重ね、4月に水産庁と三倍体カキ種苗を生産している有力企業と意見交換を行った。広田湾漁協は県漁連を通じて、国や県に支援を要望している。

市道草刈り予算は

問 道路愛護会育成事業のうち市道草刈りの実績は、

答 令和7年度の活動は、出演回数が約800回、人員が約1万1千人、作業延長が約700時。奨励金交付額は約300万円だった。

問 道路愛護会の努力に応じた予算の配分は、

答 課題も多いと考えるが、検討していきたい。



ふくだ としき
福田 利喜
(創生会)

ふるさと納税の意義は復興を支える重要な柱



こちらから視聴できます

問 ふるさと納税制度の意義をどのように捉えているか。

答 持続可能な発展、福祉の向上、地域コミュニティの維持、復興を支える極めて重要な「柱」という意義を有していると捉えている。

問 安定して提供できる返礼品の開拓についてどのように考えているか。

答 本市の有力な返礼品については、海産物や農産物が主体であることから、急激にこれを伸ばすことは難しい。しかし、カキについては、高温や疾病に強い種苗の積極的な導入、サーモンについては本市の魅力のかつ安定的な生産が見込める返礼品となるよう関係者と連携しながら取り組む。

かさ上げ地の利用は

問 かさ上げ地全体の利用計画はどうか。

答 立地適正化計画の策定を進めている。併せて、陸前高田市景観計画の見直しも検討していく。

問 土地の利用率を高めるための方策は、

答 用途地域の見直しなど支援策の周知を図りたい。



かさ上げ地の利活用には計画が必要



おおわだ かよこ
大和田加代子

市民の森の施設改修は

2、3年かけ計画的に整備



こちらから視聴できます

問 小友町の市民の森地内にある気仙大工左官伝承館と杉の家はこねは、雨漏りするなど老朽化が深刻だ。改修予定はどうか。

答 近年は震災復興事業を優先せざるを得なかったため、補修など維持管理措置を十分に行えなかった。今後は2、3年かけて計画的な補修や整備、樹木の伐採を進める。特に速やかな対応が必要な杉の家はこね



今年度補修予定の杉の家はこね（小友町）

の雨漏りの補修経費は、今定例会の補正予算に計上した。

問 杉の家はこねの活用の方性は。

答 箱根振興会との意見交換で、美術品展示施設としての活用を望む声もあった。そのようなことも受け止めながら検討する。

ボラ募集の一元化は

問 本市では各団体がボランティアを募集しているが、他の自治体によっては窓口を一つにし、募集情報の一覧表を発行しているケースがある。このような取り組みはどうか。

答 一覧表で募集するのは、どこが募集しているか、一目でわかるという点で非常に便利と思う。そのやり方が本市に合っているか、有効性も含め、検討が必要と考える。



おおつば りょうこ
大坪 涼子
（日本共産党）

不登校対策の現状は

中学校に教育支援センター新設



こちらから視聴できます

問 本市の不登校の状況は。

答 全国水準は下回っているが、令和5年度以降、特に小学校での割合が上昇している。

問 こどもも親も安心できる支援が必要では。

答 中学校に教育支援センターを設置し、教室に入れない生徒をサポートしている。スクールソーシャルワーカーの



市内中学校内に教育支援センターが設置

派遣や、各家庭に適応支援員が直接訪問するなどの支援も行っている。

問 教職員の多忙対策は。

答 教職員がゆとりをもって指導できるよう、ICT関係の業務委託や部活動の地域展開、専門スタッフの派遣などで負担軽減を図っている。

スポ大会で経済効果を

問 先の高校野球県大会では、高田松原野球場が会場となり、多くの人が訪れた。各種大会の誘致を進めた上で、市内の宿泊や飲食事業者と協力し、経済効果を上げる取り組みの考えは。

答 情報共有することでスポーツ交流が地域経済を牽引する原動力となるよう考えている。



ささき りょうま
佐々木良麻
（とうほく未来創生）

討論会発言の真意は

大学校舎建設の考えはない



こちらから視聴できます

問 公約の大学誘致について、市長は「校舎を新たに建てる考えはない」としているが、市長選前の公開討論会で「広大な空き地が目につき、広いキャンパスとして活用できれば」と発言をしていた。当時と現在の考えをどのように整理しているか。

答 大学の校舎を新たに建設するという考えは、一度も思ったことはない。

問 公開討論会では、空き地対策として大学誘致に触れていた。発言に無理があるのでは。

答 当時の記憶は定かでないが、空き地対策として話したのではないと思う。

問 公開討論会は動画が公開されている。確認しているか。

答 特に関心がないため、確認していない。



陸前高田青年会議所主催の公開討論会

花火大会の開催は

問 開催にあたって、収支計画や運営の見通しについて実行委員会からどのような報告を受けているか。

答 協力協定により月に1回程度の報告を義務付けており、興行中止保険への加入も必須とし、チケット代金及び事業者への支払い原資の確保を徹底させている。



サーモン養殖の種苗生産施設（下矢作）

問 公約の「千人雇用」の達成状況はどうか。

答 数量的に示すのは難しい。途中経過を逐一報告するものではない。

問 公約の達成状況の説明がなければ、選挙目当になるのではないか。

答 サーモン養殖の種苗施設の稼働など多くの要因があり、現時点で数字を示すのは

公約の「千人雇用」は

現時点で数を示すのは難しい



こちらから視聴できます

難しい。市民に公約の達成具合をしっかりと説明しなければ思っている。

問 サーモン養殖を除いた一次産業の生産額の倍増は、農業や林業の関係者と意見交換し取り組んでいる。

防災大学の誘致は

問 大震災から15年を機に、市民と共に国の防災大学の誘致を検討することはどうか。

答 候補地として適地であり、県と連携し取り組みたい。

クマ対策はどうか

問 市内の住宅地にもクマが出没する異常な事態だ。市民の命と安全を守る態勢はどうか。

答 迅速な注意喚起と、2回目の緊急銃猟の訓練を実施している。

中東情勢に伴う物価高騰対策で国等へ意見書提出

産業建設常任委員会は、市内にも大きく影響を及ぼしている、中東情勢に伴う物価高騰やナフサ不足などの現状を把握するため、所管事務調査を行いました。

今回の調査は市役所内4つの担当課から、次のとおり市内の窮状を聞き取ることができました。

農業関係

- ・出荷用フィルムの確保困難やプラスチック資材の高騰。
- ・資材は事前に予約しているため今季は対応できたが、今秋にも在庫不足が懸念される。
- ・資材不足により、来期の生産を不安視する農業者もいる。

商工関係

- ・仕入れ単価上昇が経営を圧迫。
- ・高騰するプラスチック包材から紙包材への移行などの経営努力がある。
- ・飲食業、小売業などは仕入れ価格の上昇を価格転嫁しづらい。
- ・震災前、震災後、コロナ禍と三重ローンを抱えている事業者も多い。

建設関係

- ・アスファルト合材やRC砕石などの価格高騰、エアコンやユニットバスの入手困難、塩ビ管の高騰に加え入手困難など業界全体に影響。
- ・民間工事においては単価上昇が直接施主の負担となり、着工数などへの影響が懸念される。

水産関係

- ・発泡スチロール・漁網・ロープなど軒並み価格高騰。
- ・重油・軽油の高騰、ビニール・油圧オイルの品薄。
- ・漁業者から燃料や漁業資材全般に対する支援を求める声が寄せられている。

以上の調査を踏まえ、委員間の意見交換を行い、意見書を提出することにしました。物価高騰や資材不足に加え、被災地であるがゆえの三重ローンの問題や今後の円安による影響など、依然不透明な社会情勢についての内容も盛り込む意見書案となりました。定例会最終日に委員会発議を行い、全会一致で可決し、国等に意見書を提出しました。

意見書で国等に求めた対策

① 地域産業全体に対し、燃料費及び資材価格高騰の影響を踏まえた実効性のある政策を講じること。

② ナフサをはじめとする原材料及び燃料の安定供給並びに価格の安定化を図るため、価格高騰対策を講じ、市民生活への影響を最小限に抑えること。

③ 燃料価格の高騰に対する緊急的激変緩和措置について、現行制度の継続を図ること。

意見書全文はこちら



きむら あきら
木村 聡
(とうほく未来創生)

今後の財調取り崩しは
各年5億円を目安に



こちらから視聴できます

問 一般会計予算について、以前の説明によると本年度は財政調整基金からの取り崩しが5・5億円の見通しだった。それが12億円と増えた要因は。

答 財源確保が厳しい中、年度間の不均衡が生じた結果、大きくなった。

問 今後は5億円程度の取り崩しに抑えるという考えか。

答 5億円を目安にし、一定の基金残高確保に努めたい。

産業振興とつする

問 一次産業分野に学生が関わる取り組みは。

答 中央大学に新設される情報農学部（仮称）の学生が、繁忙期に市内などで農作業を体験しながら学ぶと聞いている。修学の喜びも感じられるよう良い関係を目指す。



農福連携等で雇用の質的転換を

問 雇用千人の公約は、深刻な人手不足の中、人数だけでなく若者や女性に寄り添った質的な目標へ舵を切るべきでは。

答 サーマン養殖や農福連携など多角的な施策で雇用の増加のみならず、質的転換あるいは維持安定を図りたい。

市建設業協会との語る会

陸前高田市議会は、6月8日、市建設業協会（畠山正彦代表理事）を対象に「議会と語る会」を開催しました。協会の10人に参加してもらい、中東情勢による深刻な影響について報告を受けたほか、企業誘致の現状や高田松原海水浴場の利便性向上など、様々な市政課題について意見交換をしました。

参加した会員からは、資材の高騰といった中東情勢の影響を受けている建設業界の深刻な現状が報告されました。また、公共工事の遅れをはじめ、政府や行政の補助金・支援金の検討のほか、価格安定策の必要性が訴えられました。高田松原海水浴場に関しては駐車場の整備や陸こう（防潮堤に設置されたゲート）の開放について要望がありました。その他の意見交換では、災害対応として地区ごとの被害想定や支援策の必要性が話題になりました。JR線路跡地

中東情勢の影響が深刻

の管理については、草刈りなどでの民間協力の可能性についてJRと協議することが提案されました。今回の語る会は、市建設業協会からの事前質問に対し、あらかじめ議会側が調査した結果を説明しながらスムーズな意見交換が行われました。特に、中東情勢による影響については、認識を新たにさせられる機会となり、他団体との語る会開催の必要性を感じたところです。



市建設業協会と諸問題について意見交換

総務

所管事務調査

所管事務調査

5/20

・管外行政視察について

6/18

・会期中の所管事務調査について
・管外行政視察について

7/2

・市内車避難対策の進捗状況及び課題について（市消防防災センター）
・管外行政視察について

総務常任委員会は7月2日、市消防防災センターで車避難を含めた津波避難計画の策定状況について、市防災局中村吉雄局長から説明を受けました。

本市は、令和4年に岩手県が公表した津波浸水想定に基づき新たな津波避難計画の策定を進めています。高齡化の進行や観光客の増加により、従来の「徒歩避難原則」だけでは、命を守れない実態が想定されることから、車避難のあり方について取り組んでいます。

現在、静岡大学牛山教授、東京大学関谷教授、加藤教授などの有識者による「陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー会議」を設置しています。東京大学加藤研究室の交通工学の専門家が、世界最先端のシミュレーションソフトを駆使し分析を行っており、この「陸前高田モデル」が、全国

の車避難検討の基礎になることも紹介されました。

アドバイザリー会議の検討はすでに丸2年が経過。中村局長は、徒歩と車が混在し、互いに影響し合うシミュレーションは、交通渋滞の様子を可視化できるため、市民に単に結論を示すだけではなく、合意形成を得る強力なツールであるとしています。

また、シミュレーションから得られた課題として、停電時も非常用電源で稼働する「防災信号」が通常のプログラムにより渋滞を悪化させるケースや、一時停止などの交通標識を要因とした渋滞、避難先の駐車するスペースの不足による滞留問題などがあげられました。

今後の取り組みとして、様々な避難のシミュレーションしたものを「見える化」し、誰がどのルートで車を使うかを把握しながら、狭い道路では「歩車分離」の検討など、

地区ごとの対策を講じる考えを示しました。本委員会としても、引き続き、市防災について調査を行ってまいります。



中村防災局長が津波避難計画の策定状況を説明

委員長	藤 倉 泰 治
副委員長	佐々木 一 義
	菅 野 広 紀
	伊 藤 明 彦
	鵜 浦 昌 也

教育民生

所管事務調査

所管事務調査

5/20

・管外行政視察について

6/18

・会期中の所管事務調査について
・管外行政視察について

7/2

・陸前高田市子ども基本条例に係るリーフレットについて
・管外行政視察について

教育民生常任委員会は7月2日、陸前高田市子ども基本条例のリーフレット作成について所管事務調査を行いました。

この取り組みは、昨年9月に委員会提案により可決・施行された陸前高田市子ども基本条例について、当事者であるこどもたちにも条例の趣旨を分かりやすく伝えようと、リーフレットの作成を進めているものです。

この日は、発行時期や対象年齢、先進地視察の実施、参考意見の聴取方法などについて協議しました。発行時期は来年3〜4月を目標とし、対象年齢は小学校4年生以上が理解できる内容とすることを確認しました。また、先進地視察については日程調整を進めると共に、リーフレット原案をもとに関係部局等との意見交換を行う予定です。

こどもに関する取り組みを当事者であるこどもたちにも分かりやすく伝えることは、陸前高田市子ども基本条例にも定められています。当委員会では、今後もリーフレットの内容を充実させ、条例への理解促進に向けた取り組みを進めていきます。

研修会の実施

教育民生常任委員会では、今期の調査テーマを「こどものウェルビーイング向上について」としています。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に満たされ、自分らしく希望を持って生活できている状態を指し、文部科学省が策定した第4期教育振興基本計画の柱の一つにも位置付けられています。

学校生活だけにとどまらず、こどもの総合的な幸福の実現につながるウェルビーイングへの理解を深めるため、8月10日に研

修会を開くこととしました。研修会では、宮城教育大学の本図愛実教授を講師に迎え、こどものウェルビーイングに関わる施策について調査を行う予定です。



現在作成中のリーフレット案

委員長	麻子卓喜一
副委員長	良 涼 利 修
	佐々木 坪 林 田 川
	大 小 福 及

産業建設

所管事務調査

5/20

- ・空き家対策の推進に関する政策について

6/18

- ・会期中の所管事務調査について
- ・空き家対策の推進に関する政策提言について

7/2

- ・原油価格高騰による市民生活への影響に係る対策強化及び事業所等への物資等の不安定な供給状況の改善を求める意見書について
- ・空き家対策の推進に関する政策提言について

所管事務調査

産業建設常任委員会は5月20日、市役所で「空き家対策の推進に関する政策について」調査しました。

本市でも課題となつている空き家の現況をはじめ、利活用や危険家屋の撤去に対する補助制度などについて、菅野優住宅政策室長と遠野正隆係長から説明を受け、質疑を行いました。

現時点で、市内の空き家は約570軒程度で、家屋の老朽度をAからDの4段階に分けた場合の、老朽度が著しいDランクについては再度調査を行う予定とのことでした。利活用については、住宅にコンパクトさを求める人が多く古民家などは大きさや部屋数とのミスマッチがあること、危険空き家については高額な解体費用や相続登記の問題など、補助や支援が必要な課題が浮き彫りと

なりました。

本委員会としては、本件について市に政策提言することを検討しており、今回の調査を経て、今後内容を絞りながら提言をまとめていく予定です。

意見書に関する調査

「中東情勢に伴う物価高騰への対策強化及び資材・燃料等の安定供給を求める意見書について」の調査を、7月2日に市役所で行いました。

中東情勢が緊迫化して以来続く物価の高騰や原料資材の供給不足などについて、市内事業者のほか、農業や水産業の現状を把握するため、市の建設、農林、水産、商工観光各課の職員から詳細な説明を受け、質疑、意見交換を行いました。

↓詳細は13ページへ



市当局が市内の物価高騰などの状況を説明

委員長 菅野 秀一郎
副委員長 伊勢 純
木村 聡
大和田 加代子
大坂 俊

令和7年度 政務活動費執行状況

本市議会の議員は1人につき月額12,500円の政務活動費の交付を受けることができます。(会派に属する議員は会派に、会派に属さない議員は議員個人に交付)

政務活動費は、市政に関する調査研究等に資するため必要な経費として使用するもので、使途基準が定められています。

なお、交付額より執行額が上回る会派等については、自己資金にて対応しています。

会派等交付先	人数(人)	執行額(円)
碧 い 風 (R7.8.19 解散)	2	181,977
創 生 会	3	435,215
とうほく未来創生	2	296,567
日 本 共 産 党	3	445,048
小 林 卓	—	77,542
大和田 加代子 (R7.9 月分から)	—	104,831
中 野 貴 徳	—	77,542
佐々木 一 義	—	0
大 坂 俊	—	89,423
菅 野 広 紀 (R7.9 月分から)	—	72,530
伊 藤 明 彦	—	103,869
及 川 修 一	—	151,190

議長交際費をお知らせします

令和7年度分の議長交際費の支出状況をお知らせします。議長交際費は議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

支出区分	件数(件)	執行額(円)	支出区分
お祝い	0	0	
会 費	9	50,000	各団体表彰式・祝賀会・ 激励会等の会費
慶 弔	4	51,500	元市議会議員の逝去に 際しての香典・生花
その他	2	37,650	他自治体訪問の際の 土産等
合 計	15	139,150	

中野氏が議員辞職

3月31日付けで中野貴徳氏から議員辞職の申し出があり、議会閉会中であつたことから議長が受理し、即日辞職が許可されました。

これにより議員に1名の欠員が生じますが、来年2月執行予定の市長選挙の際に、市議会議員の補欠選挙が併せて行われます。

福田議員を選任 沿岸南部広域環境組合

中野貴徳氏の議員辞職に伴い、岩手県沿岸南部広域環境組合議員に欠員が生じたことから、今定例会初日に選任しました。

選任方法は議長からの指名推薦選挙により行われ、福田利喜議員が新たに沿岸南部広域環境組合議会の議員となりました。任期は前任者の残任期間で、来年9月の議員任期終了までとなります。

全員協議会

令和8年4月以降市当局から提出された案件をお知らせします。

4月21日

- ◎陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略の策定について
- ◎陸前高田市まちづくり総合計画（令和8、9、10年度）実施計画の策定について
- ◎陸前高田レインボーハウス譲渡式について

6月18日

- ◎陸前高田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
- ◎陸前高田がんばっぺし応援基金積立金について
- ◎ふるさと融資制度の活用について
- ◎令和8年度小友地区土砂災害避難等訓練の実施について
- ◎水道メーターの検定有効期間切れについて

残暑お見舞い申し上げます

公職選挙法により
暑中見舞い等を個別に送ることはできませんので、
ご理解願います。



2016年

ピーカンナッツ
プロジェクト発足



2020年

試験栽培開始
市による
試験栽培ほ場



2022年

サロンドロワイヤル
高田工場・店舗開業



2024年

初めての結実
市試験栽培ほ場にて
最初の結実を確認



震災を乗り越え100年の森を目指して 陸前高田産ピーカンナッツ



陸前高田市議会有志が
植樹会に参加

陸前高田市で平成28年に始まったピーカンナッツプロジェクト。

この取り組みは、本市、株式会社サロンドロワイヤル（大阪市）、東京大学（生産技術研究所、大学院農学生

命科学研究科）の三者によるピーカンナッツの栽培と流通を目指したものです。

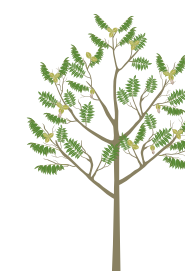
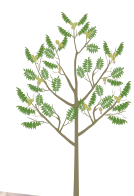
現在、被災した低地部で、新たなピーカンナッツの森づくりが進んでいます。

本市議会は5月16日、ピーカンナッツ100年の森植樹会に参加しました。

株式会社サロンドロワイヤル代表取締役の前内眞智子



さんは、「ピーカンナッツは健康的な食材であるだけでなく、栽培を通して地域の雇用や復興につながる、新しい地域づくりの起点となる作物です。私たちは100年後の未来にも実るナッツの木を、陸前高田という土地に根づかせていきたいと考えています」と話しています。



議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第136号のクイズの答えとともに寄せられたご意見の一部を紹介します。



仕事上車を運転することが多く道路のデコボコが気になっています。大変な作業だと思いますが、道路の補修よろしくをお願いします。安全のためにも。(広田町女性 70代)

歩道にタバコの吸い殻が多くみられます。一年前の山火事のことが思い出されます。火を消したからいいではなく、一人一人の心がけが大切です。広報等で注意喚起してもらえたらと思います。(高田町女性 80代)



令和8年度国民健康保険税1人平均引き下げ15,000円は市民にとって負担が軽減されると思います。常々高いと思っていました。(高田町女性 60代)

がんばってます!に載っていた劇団☆ばばをぜひ見てみたいと思いました。これからも私達が知らないがんばっている人を紹介してください。(高田町男性 60代)



陸前高田市がこどもたち、若い世代、子育て世帯が暮らしやすい町になるようにがんばってください。(小友町女性 40代)

活動報告会する議員さんを増やしてください。(広田町女性 40代)



議会だよりクイズ

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか?



5月29日に議場を訪れたのは○○小学校の児童たちです。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL (こちらのメール送信フォームをご利用ください。)

しめきり 令和8年9月15日(当日消印有効)



議会だより第136号クイズの答え ○の中にはどんな数字が入るでしょうか?

第136号表紙の写真は○○保育所のこどもたちです。

答え 小友



表紙の写真

6月14日に行われた第12回川崎フロンターレにこにこサッカー教室。参加したこどもたちはみな楽しそうに取り組んでいました。

高田高校生が市議会を傍聴!

～ワークトリップで体験する「まちづくり」の最前線～

県立高田高校の生徒たちが、午前と午後の2班に分かれて、開会中の市議会定例会の一般質問を傍聴しました。これは様々な職場体験を行う「ワークトリップ」の一環として市役所を訪れた際、議場にも足を運んでもらったものです。普段はなかなか入る機会のない議場で、生徒たちは真剣な表情で議論に耳を傾けていました。



参加した
高校生たちの
生の声

市議会を実際に傍聴した生徒たちからは、緊張感あふれる現場への驚きや、これからのまちづくりに対する頼もしいメッセージなど、たくさん感想が寄せられました。

驚きと緊迫感!生の議論を肌で感じて

「市長さんや議員の皆さんが話している議会を間近でみて、緊張したけど凄いなと思いました」
「生で見て、テレビでは感じられない緊迫感を感じることができた」

難しいけど、伝わってきた「熱意」

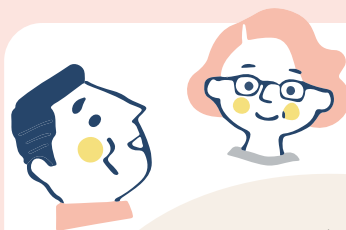
「難しい言葉が多くて理解は大変だったけれど、これからの高田のために一生懸命議論していることはよく伝わりました。これからも頑張ってもらいたい」
「高校とは話し合いのレベルが違って、もっと聴きたくなりました」

貴重な体験を通して、まちをもっと身近に

「陸前高田市の定例会を傍聴できるという貴重な体験ができ、とても嬉しかった」
「どのような取り組みが行われているかを知ることが出来たので、とてもタメになった」



(令和8年度ワークトリップ・高田高校生感想より)



Q

以前クイズのハガキに鳴石団地の階段の件を書きました。だいぶたって、そこを視察したと議会だよりに掲載したので、一人の意見もちゃんと届いていると実感しました。(令和7年12月135号)

A

年4回の発行のためお答えが遅くなってしまい大変申し訳ありません。今後も皆さんの意見に真摯に向き合って参ります。

Q

“国際化”はさけられない。出来る事は、英語をより積極的に活用、学習することかも知れない。(令和7年12月135号)

A

高田高校生を米クレセントシティ市のデルノート高校に派遣する一方、デルノート高校の生徒を本市に迎える相互交流事業に加え、令和7年度からは中高生を秋田県国際教養大学のイングリッシュビレッジに参加させるなど英語教育に力を入れています。



Q

一度議会を傍聴したいと思いながら、一度は是非。(令和8年3月136号)

A

お待ちしております!



Q

行政へ有権者の考えを反映、または修正していく機能を持つ議会での活動プロセスがよく分かり、興味深く拝読しました。(令和7年9月134号)

A

結果ではなく経緯を伝えることに重きを置いて編集しています。その点を読み取っていただき嬉しい限りです。



Q

こども条例いいと思います。でも子どもの数がどんどん少なくなって、将来の陸前高田市はどうなるのかと不安です。若い人が定着して、働けて安心して子育てできる市にしてください。(令和7年12月135号)

A

陸前高田市こども基本条例には、市が責任を持って子育て支援に取り組むことだけでなく、事業者や地域住民も子育て支援に取り組み、市全体で子育てやこどもの成長を支えていく考えが示されています。市全体での子育て環境向上に向け、条例の周知に取り組んでいきたいと思っています。



Q

一般質問の内容が議員同士でかぶらないようにしてください。(令和8年3月136号)

A

一般質問は議員が重要な市政課題を取り上げるため、相互に質問が重なることがあります。また、議員個々に質問の視点が違うので、再質問にも注目ください。



議会と市民の交流コーナー

ミニ特集

寄せられた意見への回答



議会と市民の交流コーナーに対してみなさんから寄せられた「意見・質問」(133号～136号掲載分の一部)にお答えします。

Q

市議会だよりを今回初めてしっかり読んでみました。どうしても興味があるものだけ読み、興味ないものはスルーしてしまいます。できるだけスルーしないよう次回も読んでみます。高田が良い街になるよう、考えてみたいと思いました。(令和7年6月133号)

A

より興味が湧くように、議会だより編集小委員会も努力して参ります。

Q

「市議会だより」高齢者にとっても読みやすくなり嬉しい限りです。カラーで字も大きく、すみずみまで読みたくなります。委員の方々の努力が見てとれます。(令和7年6月133号)

A

前136号で紹介しましたが、専門機関での研修などを行っており、ますます読みたくなるような誌面づくりに努力していきます。



(株)会議録センター(埼玉県)で研修中

Q

参院選の投票が期日前投票所のアパッセでできていたへん良かったです。日常の買い物ついでに投票した人が私の周りでも結構いました。タクシー券の利用はどうだったでしょうか。経費はかかりかかったと思います。改善の必要あり?(令和7年9月134号)

A

アパッセで投票した人は昨年の参院選で1736人、今年の衆院選では2532人に増加し、認知度が高まったようです。タクシー券は参院選で121人の利用があり、衆院選でも同程度だったようです。



Q

脱炭素については、森林の再生などもっと取り組んで欲しいと思います。異常気象によって、生態への悪影響も考えられます。(令和7年6月133号)

A

陸前高田市は国の脱炭素先行地域に選定され、脱炭素推進室も設けられ、同施策に特化した事業も展開されているところです。



メタン発酵の実証実験

Q

「陸前高田の魅力を語る」では地元で活躍する青年のお話に、本市を思う気持ちが心に伝わってきました。本当に嬉しいですね。陸前高田が魅力ある市になるよう、一市民として願っています。(令和7年9月134号)

A

またこのような企画に取り組みたいと思います。

Q

マイナカードに関して、役所以外に郵便局でも対応できる仕組みは、市民にとっても便利であると感じます。高規格救急車更新の件は、高額品でも命にかかわることですから、市民も賛成するはず。素敵な考え方が多い議員さんに感謝です。震災からの復興、頑張ってください。(令和7年9月134号)

A

本市に心を寄せていただき、ありがとうございます。応援を励みに持続可能なまちづくりに取り組んで参ります。





放課後児童クラブ支援員

ささき ゆい
佐々木 由衣さん



放課後児童クラブは、小学校の授業が終わった後、こどもが安心して過ごせる「放課後の居場所」です。支援員など大人がいる環境で、友達と一緒に遊んだり、宿題をしったりできます。

広田町の佐々木由衣さん(40)は、市内9カ所にある放課後児童クラブのひとつである、やどかり学童クラブ(高田町)の支援員です。大震災の前年からこのクラブでこどもたちを見守ってきた佐々木さんに仕事への想いをうかがいました。

この仕事に就いたのは、こどもと繋がれる仕事に憧れていたからです。だからとても楽しいです。震災後は親を亡くしたこどももいたので、なんとかサポートしていきたいと必死でした。

ある男の子に「お父さん、お迎えに来たよ」と話したら、「お母さん死んじやったから当たり前じゃない」と言われて…。何気なく使っている言葉がこどもにどう受け取られるのか、伝える側としては言葉の一つ一つを考えていかなくてはいけないと思いました。今でもお父さん、お母さんという言葉でこどもの心を辛くすることのないよう心掛けています。

このクラブでは、震災後からベーゴマをやっているんです。支援員もできるよう練習しました。紐巻きが結構難しいので途中でやめる子もいますが、どんどん強くなる子もいて、上手な子が下の子に教えるようになってつなげています。暗い場所で回すと火花が散るのでそこまで行きたいとがんばる子もいますよ。

今年新任で入った支援員は、かつて放課後児童クラブに所属していた子なんです。クラブで接

しているときはこどもたちにうまく対応できている実感がないのですが、このような形で帰ってきてくれたり、卒業生の保護者から元気であると聞くと、「こどもたちと関わられてよかった」と感じます。

議会へのひとこと

放課後児童クラブは日曜日と祝日にお休みさせていただいておりますが、その日に仕事をしている保護者もいます。なので、こどもを預ける場所が増えてほしいですし、こどもと一緒にに行ける場所があるといいかなと思います。雨の日でも小学校低学年が思いっきり体を動かせる空間があるといいですね。



あとがき



今年の夏は、全国的に危険な猛暑が続いていますが、近年は市内でも重度の熱中症による救急搬送が増加傾向にあるそうです。

そこで、対策につながる本市の取り組みを紹介します。まずは、冷房の効いた休憩場所として市内5施設が「涼み処」として利用できます。

また、本年度からリフォームに伴うエアコン設置にも市の補助がスタート。ほかには、気になる電気代の節約に太陽光発電システムの設置費用補助などもあります。さらに、太陽光発電の初期投資ゼロでスタートできるPPAモデルの推進に向けて市は検討中です。

市制度を活用して残暑を乗り切りましょう。(伊勢純)

議会だより編集小委員会

委員長	福田 利喜
副委員長	大和田 加代子
委員	佐々木 良麻
同	菅野 秀一郎
同	伊勢 純
同	佐々木 一義